

どうせやるなら

1学年主任 田賀 美奈

私は3歳の頃からピアノを習い始めた。自分から習いたいと言ったのだと母からは聞いている。ピアノが大好きで、毎日毎日弾いていたことを思い出す。犬に手をかまれて、指がズキズキ痛む日さえ、ピアノの前に座り、練習をした。

私が初めてピアノを習った先生は、祖母の姉だった。祖母の姉は、昔、小学校の教員をしていたそうで、音楽大学等でピアノを勉強した訳ではないが、ピアノが弾けて、何人もの生徒を教えていた。そんな環境のもと、私は専門的なことこそあまり習えなかったが、自由にのびのびとピアノを楽しんでいた。

小学5年生になった頃、きちんとピアノ習うなら教室を変った方がいいという話があがった。新しい教室は、日本でトップクラスの私立音楽大学の附属教室だった。私のピアノの先生は、毎週末、東京から富山までピアノを教えに来ておられたし、音楽の様々な基礎力を伸ばすソルフェージュという授業の先生も、毎週大阪から来ておられた。レッスンはとても厳しく、泣きながらレッスン会場から生徒が出ていくのも普通の光景だったし、1時間半のレッスンで、曲の最初の4小節から全く先に進ませてもらえないこともよくある話だった。

そんな教室が私は大嫌いだった。みんな苦しんだり、傷ついたりしているようにしか見えない。そもそも私は基礎が全くできていないと言われ、教室を変ったばかりの頃は両手でピアノを弾くことさえ許されなかった。指1本1本の使い方や手首の使い方を一から勉強し直さねばならず、小学2、3年生が、すらすらとショパンを弾く中、私は幼稚園の頃に弾いていた曲を片手ずつ練習しなければならなくて、本当に惨めだった。

前向きに練習をする気持ちには全くなれなかった。あまりに練習不足で、ズル休みをしたことも何度かあった。そんな状態だったので、発表会やテストなどの演奏もミスが多かった。しかし、当時私を教えてくださった先生は、私を決して見捨てず、妥協されることもなかった。できていないところを一つ一つ指摘され、できるようになるまで根気強くレッスンをされた。

大学では、音楽について研究する音楽学を先行したが、ピアノの授業もあった。大学に進学する際、ピアノ教室も卒業し、ピアノの先生も変わった訳だが、離れてみて、やっと私は厳しかった音楽教室での練習の意味を考えられるようになった。基礎がきちんと身に付いていれば、どんな曲もある程度高いレベルから練習を開始することができる。ピアノ科ではなかったが、他の楽器の人の伴奏をさせてもらったり、声楽科の人達が集まる合唱の授業の伴奏をさせてもらったりもした。大学を卒業してからも、幼稚園や小学校、地域の行事等で演奏する機会をたくさんいただいた。

そんな日々を送りながら、私は考えていた。あの厳しい音楽教室にいた頃、どうしてもっと前向きに練習をしなかったのだろう。嫌々教室に通うのではなく、積極的に練習できていたなら、もっとたくさんのことを学べていて、今よりもうまく演奏できていたに違いない。音楽とも深く関わる力が身に付いていただろう。

中学校生活は皆さんにとって楽しいことばかりではないだろう。苦手な教科もあるだろうし、自分が想像していたよりも高いレベルでやり遂げることを求められるときだってある。特に3年生は、今、受験に向けて大変な毎日を送っているだろう。そんな中で、どうせやらなくてはならないこと、今頑張らなければならない状況に直面していることがあるのであれば、嫌々やるよりも前向きな気持ちでやった方が楽しいし、得られることも多いはずだ。困難にぶつかっても、前向きに取り組むことができたなら、その経験は将来、きっと皆さんを助けてくれるに違いない。

11月7日(金) 芸能鑑賞会



富山県の伝統芸能を全校で鑑賞しました。民舞を鑑賞した後は「ささら」という楽器の演奏体験をし、全校生徒で「こきりこ節」を歌いました。

民舞では同じメロディーを何度も使われているのが分かりました。弥栄節の踊りでは手ぬぐいを使っている所に工夫を感じました。どの曲もどんどん音が弱まって終わるのが印象的でした。いくつか民舞を鑑賞しましたが、どれも個性的で地域の生活が感じられる歌詞だと思いました。

三味線や胡弓等の楽器の音色や、強弱の激しい歌い方に魅力を感じました。民舞は滑らかで、全員が同じ動きをしているのではなく、それぞれに変化があり昔の人々の工夫を読み取ることができました。今の時代まで民舞が残っていることから、歌い踊り継いでいった人々の歴史を感じました。

弥栄節では首元の手ぬぐいを使って踊ったり、細長い棒を使って踊ったりと小道具を取り入れながら、滑らかに踊っていて素敵でした。ターンやステップを繰り返し、間隔をしっかりと取りながら同じ場所に帰ってくる動きに細やかなこだわりを感じました。

今回の鑑賞で、伝統芸能は美しく、人々の思いが詰まったものだと思います。曲の終わり方が消えてなくなるようで、とても綺麗でした。こきりこ節の斉唱も体験できてよかったです。機会があれば、このような伝統芸能に触れていきたいと思いました。

印象に残った楽器は「ささら」です。108 枚の板が合わさって音が鳴る様子が不思議だなと感じました。108 枚という板の数が人間の煩悩を表したものだと言って、楽器に込められた思いを感じることができました。

とても貴重な体験をすることができました。私の祖母は八尾に住んでいたことがあっておわら風の盆に参加した話を聞いたことがありました。祖母の家にも三味線があったことを思い出しました。このような伝統があることを忘れずに過ごしていこうと思いました。



各クラスから選出された生徒がささら演奏を体験しました♪

12月の予定

1	月	短縮授業(～19日)
2	火	
3	水	
4	木	薬物乱用防止教室
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	モップ交換日

17	水	
18	木	書初練習(5,6限)
19	金	球技大会、給食最終日、愛校の日
20	土	
21	日	
22	月	保護者会 生徒は9:30下校
23	火	保護者会 生徒は9:30下校
24	水	授賞集会、終業式
25	木	冬季休業(～1/7)
26	金	
27	土	閉庁日(～1/4)
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

